

市内の事業者の現状

国東市商工会が行った「売り上げ減少アンケート調査」（期間：令和3年11月～令和4年3月）によると、約34%の事業者が「50%以上売り上げが減少」、約58%の事業者が「30%以上売り上げが減少」と回答しています（前年同月比）。

また、アンケート調査で「50%以上売り上げが減少」と答えた事業者のうち、割合が特に高かった業種は、宿泊業、飲食業、サービス業でした。これらの業種は、最もコロナ禍の影響を受けていることが浮き彫りになりました。

国東市商工会「売り上げ減少アンケート調査」
※50%以上売り上げ減少率の高い上位3業種を抜粋

業種	回答数	50%以上減少	50%以上減少率
宿泊業	3	2	66.7%
飲食業	61	34	55.7%
サービス業	61	24	39.3%
全体	384	131	34.1%

調査で聞き取りした事業者の意見

売り上げが伸びる時期になってもコロナ禍で伸びない

少しずつ戻っていた客足がオミクロン株でまた遠のいた

コロナが収束しないと売り上げの増加は望めない



仕入れ価格が上がっており、先行きが不安



ビストロ・エスポワール
末綱 秀人 さん
(国東町小原)

皆さんの支えに感謝し
希望を持ってお店を続けたい

「創業6年目ですが、この3年間はコロナ禍でとても厳しいですね。給付金や借入れ、テイクアウトなどでしのいでいる状況です」と語る末綱さん。それでも、手頃な価格で地元素材を使ったメニューを楽しんでもらいたいと、できる限りのコロナ対策を行ってきました。「店内の消毒の徹底、来店者の名簿記入、テーブルの亚克力板の設置、空気清浄機の導入などにより、『安心はおいしいプラス』（県の飲食店認証制度）の登録を受けました。安心して来店してほしいです」と感染防止策に余念がありません。

末綱さんは、常連さんからお会計の時に「大変ですが、頑張ってください。また来ます」と言われたことが、何よりの励みになったそうです。「店名の『エスポワール』は、フランス語で『希望』という意味。皆さんの支えに感謝し、コロナ禍はいつか明けるという希望を持って、生まれ育ったこのまちでお店を続けていきたいです」と話し、前を向いて開店の準備を進めていました。



コロナ禍で踏ん張る地域の事業者
終わりの見えないコロナ禍に加えて、原油高・物価高による経費の増加、人口減少による需要減少などに直面し、市内事業者はかつてない危機的な状況に追い込まれています。
おいしい料理や、真心のこもったサービスで私たちを笑顔にしてくれる、身近なお店。「もし、なくなってしまうたら」と想像してみてください。過疎化が進行する地方において、まちからなくなってしまうたお店を、同じような形で取り戻すことは困難です。何とか危機を乗り越えて、ずっとこのまちで商売を続けたい。今回の特集では、そうした思いで踏ん張っている「地域の事業者」をご紹介します。事業者の苦境に対して、いま私たちには何ができるのでしょうか。

CONTENTS 目次

- 2 **特集1** ずっと、このまちで
- 8 **特集2** 夢道、始まる
- 12 市からのお知らせ
- 14 くにさき情報ナビ
- 18 **健康** 週一元気アップ教室／私の達者な秘訣！／くにさき国保だより
- 19 **子育て** 子育てカレンダー／私の宝物／ひだまり
- 20 **相談** 休日当番医／休日歯科当番医
- 21 市長日記／市政コラム
- 22 ところをつなぐ 人権シリーズ／教育の里あらかると
- 23 図書館つうしん
- 24 まちの話題TOPICS
- 26 令和4年度 国東市成人式
- 30 お誕生おめでとう／お悔やみ申し上げます／ひとのうごき／表紙のはなし
- 31 国東あん人こん人／宇宙港のまち くにさき

新型コロナウイルスにおけるこれまでの事業者向け支援

新型コロナウイルスの感染拡大は、地域経済に暗い影を落としています。そこで市は、これまでに3度の給付金事業を行い、事業者を応援してきました。

- 1 小規模事業者応援定額給付金
売り上げが20%以上減少している事業者に一律10万円を給付。
- 2 飲食業・宿泊業営業継続応援金
飲食事業者と宿泊事業者に一律20万円を給付。
- 3 中小企業者事業継続支援給付金
売り上げが15%以上減少している事業者に最大40万円を給付。

その他の主な支援

農泊事業者応援定額給付金、農業応援定額給付金、水産業応援定額給付金、観光応援プロジェクト宿泊キャンペーンなど。

市は今年度も、コロナ禍や原油高・物価高、観光客の減少などの影響を受ける事業者に対する支援を行っています。

※内容については、市報8月号の8ページをご覧ください。